

組 番 氏 名

谷川小学校は、それぞれの学年が二クラスずつある約三百人の学校です。



ある日の昼休み、ドッジボールをしていた五年生が、一輪車をしてい
た二年生とぶつかりました。

その二年生は、ひざをすりむきました。体育館では、このようなけが
がたびたび起きていました。そこで、運動委員会が中心となり、体育館
の使い方を見直すことにしました。



運動委員会では、まず、全校の子どもたちにアンケートをとり、「体育館でやりたい遊び・運動」、「体育館の使い方」について調べました。その結果をまとめると、次のとおりになりました。

全校アンケートの結果①

「体育館でやりたい遊び・運動」

多かった意見

一位	ドッジボール	百五十三人
二位	バスケットボール	百三十二人
三位	おにごっこ	八十一人
四位	なわとび（長なわ・短なわ）	六十五人
五位	一輪車	四十人

全校アンケートの結果②

「体育館の使い方」

多かった意見

一位	ドッジボールだけで遊びたい。	百八十二人
二位	同じ学年の人だけで遊びたい。	百六十三人
三位	一輪車と他の遊びを分けてほしい。	八十四人
四位	バスケットボールだけで遊びたい。	七十三人
五位	五・六年生と遊びたい。（一・二年生）	五十二人

運動委員会では、次に、この結果を生かして「わり当て表」を作ることになりました。作ることに注意したことは、①安全に使えること、②全校の願いを生かすこと、の二つです。その結果、A案とB案ができました。そして、どちらが良いか、それぞれの学年に意見を聞くことにしました。

<A案>

やってよい遊び・運動

曜日	体育館 わり当て表
月	ボール運動
火	長なわ・おにごっこ
水	一輪車
木	長なわ・おにごっこ
金	ボール運動

<B案>

使ってよい学年

曜日	体育館 わり当て表	
	<前側>	<後ろ側>
月	1年生	2年生
火	3年生	4年生
水	5年生	6年生
木	1・3・5年生	
金	2・4・6年生	

五年生では、各クラスのリーダーが集まり、どちらの案が良いかを話し合いました。次の文章は、そのときの様子です。これらを読んで、あとの問題文に答えましょう。

○ 司会者

では、これから、運動委員会から提案された内容を話し合います。

みなさんは、わり当て表のA案とB案、どちらに賛成しますか。全校の子どもたちが安全に使えること、全校の願いを生かしていること、などを考えて意見を発表してください。

★ 西田さん



わたしはA案が良いと思います。遊びや運動の種類で分けているからです。こうすると、ドッジボールをしている子と一輪車をしている子がいつしよになることがないから、安全に遊べるようになると思います。

◆ 北川さん



ぼくも西田さんの意見に賛成です。「全校アンケートの結果①」の「体育館でやりたい遊び・運動」を見ると、 などボール運動に人気があることが分かります。そのボール運動を月曜日と金曜日の二回できるようにしているところがいいと思います。A案は全校の願いも生かしていると思います。

■ 東山さん



北川さんの意見に反対です。A案では、全校のみんなが同時にボール運動することになります。もしも、一年生と六年生がいつしよにドッジボールをしたら、こんごつするし、運動の力に差があつてあぶないと思います。

● 南野さん



B案は、「全校アンケートの結果②」の中の という意見を生かしているので、とても良いと思います。わたしは、この意見を書いた人たちの気持ちが分かります。三年生の時、私は、ドッジボールをしたくて体育館に行きました。でも、すでに五・六年生の男子がいました。「いつしよにやろう」と声をかけてくれたけど、へただからやめて、別の遊びをしました。その時、自分たちだけでドッジボールができたらと思いました。

○ 司会者

南野さんの発言は、B案に賛成するものですね。自分の体験を加えて話しているので分かりやすいと思いました。他にB案について意見はありませんか。

■ 東山さん



B案の良さは、まだほかにもあります。体育館を前と後ろの二つに分けていることです。この前、体育の時間に、二つのクラスが体育館の前と後ろでドッジボールをしました。その時、二つのクラスはぶつからずに運動しました。安全に遊べる良いアイデアだと思います。

★ 西田さん



わたしはB案に反対です。このわり当て表を作ることになったきっかけを思い出してください。体育館を前と後ろに分けたとしても、 ので、安全ではありません。

○ 司会者

いろいろな意見が出されました。どちらの案も、良さど問題点があるようですね。

(問一) ア、イに当てはまる言葉を書きましよう。

ア

イ

(問二) 話し合いの中で、次のことを話しているのは、だれですか。すぐて書きましよう。

A案の良そ

B案の良そ

(問三) ウに当てはまる言葉を書きましよう。

(問四) A案とB案のうち、あなたが賛成する案の意見文を答案用紙に書きましよう。そのとき、次にしめす五つのじょうけんを守りましよう。

・わたしは、案に賛成します。

【じょうけん】

ア 三四〇字（波線）以上書くこと。

※ 題名や氏名は書かずに一行目から書き始める。

イ 「はじめ・なか・おわり」のまとまりを作り、四だん落、または五だん落で書くこと。

※ はじめ→一だん落、なか→二〜三だん落、おわり→一だん落とする。

ウ 第一だん落に、自分がどちらの案に賛成するかをはっきりと書くこと。

エ 賛成する理由を二つから三つ書くこと。

※ 問題文にあるアンケート結果やわり当て表、また話し合いの内容を使つても良い。

オ 理由の一つ以上に、あなた自身の体験や予想を書き加えること。

※ 予想とは、「こうすると、〇〇になると思つた」、「もしも、□□なら、△△だと思つた」などの文のこと。

